

# 岩手県の 土地改良



## CONTENTS

- 新年のご挨拶  
岩手県土地改良事業団体連合会会長 小田島 峰雄…… 2
- 新年にあたって  
全国土地改良事業団体連合会会長 二階 俊博 …… 3
- 新年のご挨拶  
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子 …… 4
- 新年のご挨拶  
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫 …… 5
- 令和3年度農業農村整備関係予算の概算が決定 …… 6
- 強い農業のための基盤づくりや農村地域における  
国土強靱化の実現に向けて要請活動を行う …… 6
- 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて …… 7
- 胆沢平野土地改良区創立70周年記念式典を開催 …… 7
- 小田島 峰雄氏が岩手県農林水産業表彰を受賞 …… 8
- 内澤 初藏氏が農政功労者表彰を受賞 …… 8

2021(1月) No.585

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号  
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/千葉 匡 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

### 「月夜の稲わらぼっち」

令和2年度「農村景観」写真コンクール 風景部門 優秀賞





## 新年のご挨拶

岩手県土地改良事業団体連合会  
会長 小田島 峰 雄

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、心新たなる新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年から続く、新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本のみならず世界全体の情勢が目まぐるしく変化しておりますが、そうした中にあっても変わらずに、農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力をいただいていることに厚く御礼を申し上げます。

今年の干支である丑の歩みのように、一步一步着実にコロナ禍収束に向けた取組が進み、落ち着いた生活を取り戻せることを期待したいと思います。

さて、国の予算の情勢であります。防災・減災、国土強靱化のための緊急対策が、5か年加速化対策として延長となり、5年間で事業規模約15兆円の対策を政府全体で取組むこととなりました。また、令和3年度の農業農村整備事業予算について、全国の土地改良事業関係者が一丸となって予算確保に向けた取組を進めた結果、当初予算4,445億円、令和2年度補正予算1,855億円、合せて6,300億円という大幅削減前をはるかに上回る予算が年末に閣議決定されました。

当初予算については、農林水産省全体が減額となる中、農業農村整備事業関係が増額となりましたが、農業者の要望に応え計画的に事業を推進していくためには、更なる当初予算の確保が必要不可欠であります。

本連合会では、当初予算の確保と補正予算の継続的な措置に向け、財務省や農林水産省をはじめとする各省庁、そして県への要請活動を、引き続き展開してまいり所存であります。会員の皆様方には、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

この令和3年度予算においては、農業の成長産業化に向けた水田の大区画化や汎用化等とともに、国土強靱化に向けた農業水利施設等の豪雨・耐震化対策が重点事項に位置付けられています。

本県においては、農業を足腰の強い産業にするとともに、子や孫へしっかりと引き継いでいけるよう、ほ場整備事業をはじめとした土地改良事業が各地区で展開されていますが、本連合会では、ドローン等の新技術を取り入れながら、地域条件等に応じた事業計画の策定等に力を注ぐとともに、本年度、新たに創設した換地部が中心となって、換地計画の作成や確定測量等の業務を円滑に実施するなどにより、ほ場整備事業の推進に一層貢献してまいります。

また、ため池を含む農業水利施設の防災・減災対策が県内各地で進められる中において、本連合会では、ため池のハザードマップ作成やため池データベースの整備などに取り組んでおります。これらの取組は、農村地域の国土強靱化を進める上で、大変重要な役割を担っていることから、引き続き、関係機関とともに進めてまいります。

こうした土地改良事業を円滑に進めていく上で、重要な役割を担っているのが土地改良区ですが、農業農村を巡る情勢が目まぐるしく変化する現代において、その運営基盤の強化をより一層進めていくことが求められています。

土地改良区の業務運営の適正化を図るため、改正土地改良法が施行されましたが、この法律改正により、貸借対照表の作成・公表が令和4年度までに義務付けられたことは皆様ご承知のとおりです。本連合会では県と連携し、複式簿記の導入等に向けた研修会を開催するなど、会員土地改良区への支援を、引き続き進めてまいります。

また、土地改良区の施設管理労力の節減に向け、県とともに、土地改良施設の日常管理へのドローンの活用に向けた検証を県内2地区で実施していますが、有効性等が確認できたものについて、今後、実用化に向けた検討を進めてまいります。

今年は、今後5か年の土地改良事業の展開方向を示す「新たな土地改良長期計画」が見直される予定です。この検討にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大によって、国民からの関心が高まっている食料の安定供給に向けた生産基盤の強化や、頻発する大規模自然災害への対応に向けた防災・減災対策の強化等の推進が議論されております。

このように、土地改良事業が担う役割の重要性が、今後益々高まっていくものと考えられることから、組織一丸となって土地改良事業の推進に向け、業務に邁進する所存であります。会員皆様方には、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様方が、ご健勝にてご活躍いただきますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会  
会長 二階俊博

令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立っていただいていることについて、心から敬意を表します。

全国で32カ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様の御尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな5か年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様方にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。岩手県の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。

また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

岩手県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫

明けましておめでとうございます。岩手県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げ、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をして参る所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さま方のご関心も高い、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の3か年緊急対策に続き令和7年度までの5か年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池、農業水利施設等の老朽化対策や予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら、総額6,300億円（当初4,445億円、補正:国土強靱化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せ生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、岩手県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 令和3年度農業農村整備関係予算の概算が決定

— 令和2年度補正予算を併せ前年比142.1%に —

令和2年12月21日、令和3年度予算案が閣議決定されました。

農業農村整備事業関係予算は4,445億円となり、令和2年度補正追加額1,855億円と合わせると6,300億円となります。

(単位:億円)

	令和2年度 予算額	令和3年度 概算決定額 A	令和2年度 補正追加額 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,264	3,333 (102.1%)	1,855	5,188 (158.9%)
農業農村整備関連事業(非公共)	508	518 (102.0%)		518 (102.0%)
〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 〕				
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	661	595 (90.0%)		595 (90.0%)
計	4,433	4,445 (100.3%)	1,855	6,300 (142.1%)

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。  
2 令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額である。  
3 令和2年度補正予算額はTPP等関連対策及び防災・減災、国土強靱化の推進のための対策が対象。  
4 農山漁村振興交付金は情報通信環境整備対策及び最適土地利用対策である。

## 強い農業のための基盤づくりや農村地域における 国土強靱化の実現に向けて要請活動を行う

— 総務省、財務省、農林水産省へ農業農村整備の着実な推進を要請 —

本会の小田島 峰雄会長と大宮 惇幸副会長が、11月4日、総務省、財務省及び農林水産省に対し、令和3年度当初予算及び令和2年度補正予算の確保、十分な地方財政措置等に向けた「農業農村整備の着実な推進に関する要請」を行った。

総務省では自治財政局 内藤 尚志局長へ要請を行い、内藤局長からは「防災・減災、国土強靱化に向けた事業を円滑に進めることができるよう、一生懸命対応していきたい。農林水産省とは、農業用ため池の防災・減災対策について議論を重ねており、地方財政措置の拡充等についても検討を行っている。」とのコメントをいただいた。

財務省では、主計局 波戸本 尚主計官へ要請し、波戸本主計官からは、「人口減少が進む中、高収益作物への転換やスマート農業の導入等といった新たな取組への挑戦が必要と感じている。こうした挑戦に向けて、生産基盤の整備が必要

と考えている。」とのコメントをいただいた。

農林水産省では、農村振興局 牧元 幸司 局長へ要請を行い、牧元局長からは、「予算の確保に向けて、現場の声を届けてもらうことが必要。引き続き、ご支援をよろしくお願ひしたい。」とのコメントをいただいた。



【内藤自治財政局長（左から二人目）に要請書を手渡す小田島会長（右から二人目）と大宮副会長（左）千葉専務理事（右）】

## 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

— 『農業農村整備の集い』が開催 —

11月20日、全国土地改良事業団体連合会（二階 俊博会長）は、令和3年度農業農村整備事業関係当初予算の確保と、各種施策の着実な実施に向けて『農業農村整備の集い』を開催し、野上 浩太郎農林水産大臣をはじめ39名の国会議員の臨席のもと、全国から約500名が集結した。

開会に当たり二階会長は、「令和2年7月豪雨や台風による暴風雨により、多くの災害が発生しています。今後も災害からの復旧・復興を全力で進めていきます。来年度の予算編成についても一致団結して闘っていきましょう」と挨拶



【挨拶する二階会長】

挨拶した。

続いて、野上農林水産大臣が、「令和2年度予算は当初と前年度補正を合わせて6,515億円を確保しております。皆様の御支援にお礼を申し上げますとともに、今後とも必要な予算の確保に全力で取り組んでいきます」と祝辞を述べた。

また、進藤 金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が、「予算については、引き続きその確保に向け、皆様の要請活動をお願い申し上げます。今年度は宮崎 雅夫議員とともに、ため池工事措置法の成立に尽力いたしました。今後とも、二人で力を合せ頑張っております」と祝辞を述べた。

その後、宮崎 雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が、「国政での活動も二年目を迎え、進藤議員と二人で力を合わせて、二階会長始め皆様方のご指導、ご支援を賜りながら土地改良の推進に全力を尽くしてまいります」と祝辞を述べた。

集いでは『令和3年度の必要な予算を確保』など全12項目の要請案文が全会一致で採択され、国に対し強く要請することが決議された。

## 胆沢平野土地改良区創立70周年記念式典を開催

— さらなる『水陸万頃』の地を創造するために —

胆沢平野土地改良区(及川 正和理事長)創立70周年記念式典が11月18日、奥州市のプラザイン水沢において、小沢 一郎衆議院議員ほか国会議員、達増 拓也岩手県知事や農林水産省東北農政局、関係市町などの関係者約220名の出席のもと盛大に開催された。

式典では、及川理事長が「先の大戦の傷跡が癒えない昭和25年12月27日、胆沢平野土地改良区として認可され70年を迎えました。続日本紀に「水陸万頃」と称された胆沢平野に根を張り、岩を穿ち水を引き農地を耕し、米作りを愛おしんできた先人達の偉業を糧に、美田沃野を開くため心血を注いできた組合員、そして関係機関、団体の皆様に支えられ、大きな節目を迎えたことに衷心より感謝申し上げます。これを機に組合員と総代、役職員一丸となり、次の10年、20年を見据え、営農環境が抱える問



【式辞を述べる及川理事長】

題・課題解消の一つずつ着実に取り組んでまいります」と式辞を述べた。

式典では表彰状等の贈呈が行われたほか、式典終了後は、室本 隆司全国土地改良事業団体連合会専務理事による「地域を創る ほ場整備」と題した基調講演が行われた。

## 小田島 峰雄氏が岩手県農林水産業表彰を受賞

— 令和2年度いわて農林水産躍進大会において —

12月22日、岩手県民会館大ホールにおいて、『令和2年度いわて農林水産躍進大会』（主催：いわて農林水産振興協議会、岩手県）が開催され、小田島 峰雄 猿ヶ石北部土地改良区理事長（他4名）が岩手県農林水産業表彰を受賞した。

この表彰は、永年にわたり岩手県の農林水産業に関する団体の運営や協同組織の育成又は農林水産業の技術の向上発展に尽力され、顕著な功績があった方を表彰するもの。

受賞者には県内各地から参集した出席者約300名より盛大な拍手が送られた。



【受賞した小田島理事長（左から二人目）】

### 《功績の概要》

#### 小田島 峰雄 猿ヶ石北部土地改良区理事長

小田島氏は、平成17年から猿ヶ石北部土地改良区理事長、令和元年から岩手県土地改良事業団体連合会会長として、同土地改良区及び同会の運営に尽力した。

また、同土地改良区理事長として経営の透明化を図り、国営かんがい排水事業や県営農村地

域防災減災事業を導入するなど、計画的な事業の実施に寄与したほか、同会会長として会員の声に耳を傾け、国や県などに積極的に要請活動を行うなど、農業農村整備事業の推進に大きく貢献した。

## 内澤 初藏氏が農政功労者表彰を受賞

— 地域農業の振興に対する功績が評価される —

岩手県農業会議令和2年度農政功労者表彰を、内澤 初藏 軽米町土地改良区理事長が受賞した。

この表彰は永年にわたり農林業関係機関・団体の役員等として地域農業・農村の振興に多大な貢献をされた方を表彰するもの。

この表彰状の授与は、例年、岩手県農業委員会大会において行われてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が中止となり、11月18日、推薦団体である本会で行われ、本会千葉専務理事の立会いのもと杉原 永康岩手県農業会議会長から手渡された。



【表彰状を手にする内澤理事長】

### 《功績の概要》

#### 内澤 初藏 軽米町土地改良区理事長

平成5年に軽米町土地改良区理事へ就任以来、高家地区の県営事業実施に向け地域のとりまとめ役として率先して行動するとともに、事業を機に育苗施設用地の確保や農地の集団化を推進し、営農コスト節減と生産性の向上

に貢献した。

また、平成21年に理事長に就任以降は、担い手の育成や改良区の施設管理に率先して取り組むなど、改良区の運営基盤の改善に尽力している。